

日本の風穴小屋の分布に関する資料

清水長正*・山川信之*・池田明彦**・澤田結基***・関 秀明****
山田祐子*****・大和美佐枝*****・石井正樹*****

Distribution of the Cold Storage on Algific Talus Slopes in Japan

SHIMIZU Chousei, YAMAKAWA Nobuyuki, IKEDA Akihiko, SAWADA Yuki,
SEKI Hideaki, YAMADA Yuko, OWA Misae and ISHII Masaki

はじめに

山地斜面の下部が低温化する風穴の自然現象を利用して、蚕種（蚕の卵）を風穴へ冷蔵し孵化を制御することによって養蚕の時期を延長させる手法が、幕末期に開発された（清水・澤田編, 2015, 清水, 2018など）。明治期における蚕糸業の振興に伴い、大正期までに全国でおよそ300箇所以上もの「風穴小屋」（蚕種貯蔵風穴）が造られ、天然冷蔵倉庫として商業的に管理・経営されていた。各地にあった蚕種貯蔵風穴は、当時の国の基幹産業に関わることであり、農商務省農務局による記録が残されている（農商務省農務局, 1914-1919など）。

大正後期以降、電気冷蔵庫の普及により、蚕種貯蔵風穴は放棄されていったが、その後昭和前期になって植木の種子・苗木の貯蔵に再利用された風穴もある。これらの風穴（冷蔵倉庫）跡は、現在では多くが山林のなかに小屋の内壁だった石垣のみをとどめるに過ぎず、全く所在不明の風穴も多数ある。

本稿は、明治期以降の産業遺産ともみなせる過去に利用されていた風穴について、できるだけ現地での位置や現状などを調査した結果に、利用当時の記録があるが今も位置が不明なままのものも加えたもので、いわば現時点での日本の風穴小屋に関する基礎資料である。さらには、現在でも冷蔵に利用されている風穴小屋が各地にあり、それらについても紹介する。

全国風穴小屋（跡）一覧表2019の作成

明治・大正期に風穴小屋が利用されていた当時の記録は、長野県蚕病予防事務所（1905, 1910）、久保田（1909）、筆記者不明（1909）、柳澤（1910）、蚕業新報社（1913）、農商務省農務局（1914-1919）、秋田営林局（1936）などに掲載されている。いずれも、当時の農商務省農務局による記録がオリジナルとみなされる。これらの文献には、蚕種貯蔵風穴の所在地の村名字名・所有者名・蚕種貯蔵枚数などが記されている。

さらに今世紀になって、群馬県下仁田町の荒船風穴を世界文化遺産の構成資産に登録すべく動きがあり、それにともなって、群馬県教育委員会による全国都道府県教育委員会宛に、各地の風穴小屋に関するアンケート調査が行われ、風穴が所管内に所在する全国の市町村からの返答がまとめられた（群馬県・群馬県教育委員会, 2009）。

*駒澤大・非常勤講師 **品川区役所 ***福山市立大 ****古今書院 *****霧ヶ峰自然教室
*****岡谷市役所 *****長野県庁

2014年には、第一回全国風穴小屋サミットが長野県大町市で開催され、その折の配布資料として『全国風穴小屋マップ』(清水, 2014) が作成された。そのウラ面に、その時点までの資料による「全国風穴小屋一覧表2014」を掲載した。次いで、最近までの日本の風穴研究の総括として、『日本の風穴－冷涼のしくみと産業・観光への活用』が刊行され(清水・澤田編, 2015), その付録として「全国風穴小屋一覧表」の改訂版が掲載された。それらをもとに新たに判明した現地の資料をも加え、本稿の「全国風穴小屋(跡)一覧表2019」をまとめた(表1－その1～10)。日本の風穴小屋の分布資料としては最新で、風穴に関わる地理情報のひとつのベースになろう。

この一覧表作成の手順として、最初に上記の明治～大正期の文献と一部で市町村誌などに載る風穴名と所在地(当時の村名字名)を全て書き出し、さらに昭和期に植林の種子・苗木の貯蔵に利用された種子貯蔵風穴(秋田営林局, 1936)なども加えた。それらが位置する町村字名を、2万5千分の1地形図上で探し、風穴の所在地とおぼしきおおよその範囲を推定した(地形的には崖錐斜面や地すべり地形に立地することが多い)。

次に風穴小屋跡の現状を知るべく、それが所在していた山村地域へ、できうるかぎり赴き、地元での聞き取りを経たうえで現地踏査を実施した。この調査は2004年ころから開始したので、爾来15年余りを費やした。その結果、現地で確認された風穴小屋跡は、全国でおよそ200箇所近くに及んだ。それら現地調査時の概要については、『地図中心』(日本地図センター)に連載を続けている(清水, 2012-2020)。他方、現地での聞き取りによっても全く情報が得られず、現状不明となっている風穴小屋跡もまだ多い。

全国風穴小屋(跡)一覧表2019には、確認された個々の風穴の経緯度・標高の位置情報、地形図・近傍の地名、利用開始年・廃止年のほか、洞穴・石垣囲いの形式別、蚕種・種子などの貯蔵用途、周辺の地形、小屋の現存や現在の冷蔵倉庫としての実用、見学用の整備、文化財指定、管理者・所有者などの現況も示した。個々の風穴が記載された明治期～昭和前期の文献も付した。

過去の文献に記録されているものの、現地で確認されていない風穴については、位置情報や現況が空欄となっている。このほか、駒門風穴(御殿場市)や河内の風穴(彦根市)のように古くから著名な風穴であっても、過去に冷蔵利用された記録のないものは一覧表から除外した。

風穴小屋(跡)の全国分布

現地調査で確認された風穴小屋(跡)の位置情報を、全国図に展開した(図1)。長野県に集中しているので、関東甲信越を中心とした拡大図も作成した(図2)。以下では、過去に利用されていた風穴小屋を述べる場合を蚕種貯蔵風穴などとし、現在の状況や総合的に述べる場合を風穴小屋とした。

蚕種貯蔵風穴の北端は札幌市の平岸にあった北海風穴だが、現在の平岸周辺は市街地化しており、その位置や現状などの情報が全くない。北海道内には、このほか種子貯蔵用に使われた風穴小屋跡がいくつかあり、その北端は遠軽町にある鉾山の坑道跡を利用した瀬戸瀬水穴である。羊蹄山麓の京極町にある羊蹄風穴は、風穴小屋跡が4基残っており、道内の種子貯蔵の中心地でもあった。

東北部の青森・岩手・秋田の3県には、蚕種貯蔵風穴が少ない。大館市の長走風穴は、標高200m前後に高山植物群落があって国指定天然記念物として著名であり、周辺には種子やリンゴ貯蔵用に使われた風穴小屋跡が複数ある。

東南部の山形・宮城・福島^{ひのはら}の3県では蚕種貯蔵風穴が集中し、奥羽山脈などの地すべり地形に多く所在する。この地域以南で養蚕が盛んであったことがうかがえる。

関東では、東京都内の檜原村^{ひのはら}に檜原風穴があり、茨城県でも筑波山地南部に天狗風穴が確認されてい

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その1)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
北海道	瀬戸瀬氷穴 ●	—	紋別郡遠軽町瀬戸瀬山 N43 56 06.6 E143 25 01.4	瀬戸瀬 温泉	瀬戸瀬山 555 m	—	一ノ沢鉱山の坑道跡 作業道により坑口埋積
	春日風穴 ● (勝山風穴)	—	常呂郡置戸町勝山中山 N43 34 57.8 E143 28 46.4	東三国山	中山 535 m	—	北海道学術自然保護地区 地すべり地形を造成 小屋残存
	北海風穴	—	札幌郡豊平町平岸村	札幌東部	平岸	⑥	—
	羊蹄風穴 ●	—	虻田郡京極町 N42 51 41.5 E140 51 43.1	倶知安	ふきだし公園 255 m	—	溶岩流末端崖を造成 4基の石垣困残存
	真狩風穴 ●	—	虻田郡真狩村 N42 47 15.3 E140 46 41.4	羊蹄山	青少年の森 260 m	—	溶岩流末端崖を造成 人工凹地のみ残存

青森県	鳶風穴	—	上北郡法奥澤村法量焼山	陸奥焼山	焼山	⑥	土砂災害復旧工事により消滅
	平良崎風穴	—	三戸郡平良崎村玉掛片岸平良	剣吉	片岸	⑥	—
岩手県	岩手風穴 (小沼風穴)	M36	西磐井郡老松村 N38 48 15.2 E141 13 52.5	若柳	小沼(こぬま) 25 m	③④⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存 小沼風穴の標柱
秋田県	長走風穴 ●△ (矢立風穴)	—	北秋田郡矢立村長走 N40 22 55.9 E140 36 14.3	白沢	長走風穴 175 m	⑧	国天然記念物 長走風穴館 地すべり地形を造成
	新沢風穴 ●△	—	北秋田郡長木村新沢 N40 16 48.9 E140 33 53.2	小坂	新沢 205 m	—	崖錐を造成 石垣困残存
	岩神風穴 △	—	北秋田郡大館町 N40 16 48.1 E140 35 36.9	大館	岩神山 105 m	—	崖錐を造成 S40年ころの風穴小屋残存
	片山風穴	—	北秋田郡下川沿村片山 N40 16 46.6 E140 31 46.8	大館	二ツ山 65 m	⑧	崖錐を造成 原形消滅
	三関風穴	M41	雄勝郡三関村関口 N39 07 55.3 E140 31 03.1	稲庭	戸沢川 240 m	③⑥⑦⑧	湯沢市天然記念物 崖錐を造成 石垣困残存
山形県	萩生風穴	M41	西置賜郡豊原村萩生	手ノ子	萩生	③⑥⑦⑧	—
	朝日風穴	—	西置賜郡鮎貝村黒鴨大豆山	荒砥	唐松山	⑥	石垣撤去(林道法面に再利用) 地すべり地形
	金山風穴	M36	東置賜郡金山村壺長井 N38 06 58.0 E140 09 13.9	羽前中山	石畑 455 m	②③④⑥ ⑦⑧	地すべり凹地底を造成
	二井宿風穴	—	東置賜郡二井宿村 N38 01 02.4 E140 16 43.0	二井宿	大滝不動尊 460 m	⑥	地すべり地形を造成 石垣困残存 解説板
	吾妻風穴	—	南置賜郡山上村赤崩 N37 47 37.2 E140 10 48.0	天元台	立岩 1120 m	⑥	地すべり地形を造成 遺構不明瞭
	甌岳風穴 (楯岡風穴)	—	北村山郡大倉村甌岳 N38 29 15.8 E140 26 25.5	楯岡	甌岳 750 m	③⑥⑦⑧	地すべり地形(尾根部)を造成 登山道沿いに石垣困残存
	菖蒲風穴	M35	南村山郡東村菖蒲切下	上山	菖蒲	②③④⑥⑦	造成により消滅
	瀧澤風穴	—	南村山郡西郷村高松 N38 08 55.9 E140 13 11.3	羽前中山	竜沢 555 m	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	蔵王風穴	M35	南村山郡堀田村高湯	蔵王山	鳥兜山	②③④⑥⑦	—
	瀧山風穴	M36	南村山郡瀧山村八森 N38 12 18.8 E140 22 41.3	笹谷峠	八森 625 m	②③④⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	生居風穴	M41	南村山郡宮生村中生居 N38 07 47.2 E140 19 07.2	上山	中生居475m (なかなまい)	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	虚空蔵風穴	—	東村山郡作谷澤村畑谷 N38 14 53.8 E140 10 43.3	白鷹山	畑谷 530 m	⑥	崖錐を造成 石垣困残存
	黒森風穴	M36	東村山郡作谷澤村畑谷 N38 15 08.2 E140 11 42.1	宮宿	東黒森山 675 m	②③④⑥⑦	崖錐を造成 石垣困残存
	羽前風穴	M33	東村山郡高瀬村切畑 N38 16 14.1 E140 24 19.6	山寺	切畑 360 m	②③④⑥⑦	崖錐を造成 石垣困残存
	金倉風穴	M40	西村山郡西山村間澤 N38 27 59.2 E140 08 08.6	海味	小倉 485 m	③④⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困わずか残存
	月山風穴	M20	西村山郡西山村綱取 N38 28 48.3 E140 07 40.1	海味	大平山 665 m	⑥	地すべり地形(移動体)を造成 石垣困残存
	田代風穴	—	西村山郡白岩町田代	海味	田代	③⑦⑧	道路拡幅により消滅

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その2)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
宮城県	宮城風穴	—	宮城県大澤村	定義	滝ノ上	③⑥⑦⑧	—
	嵯峨立風穴	M37	登米郡錦織村嵯峨立洞山	米川	岩ノ沢	②③④⑥⑦	—
	黒森風穴	M13	刈田郡小原村黒森山 N37 54 59.2 E140 29 25.7	中茂庭 ノ関	萬歳楽山 595-616 m	②③④⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 6基の小屋跡 萬蔵稻荷神社に概景奉納
	材木岩風穴	M23	刈田郡小原村上戸沢材木岩 N37 57 20.9 E140 31 09.8	白石南部	セヶ宿ダム 230 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 材木岩公園 見学用復元小屋(H16年)
	腰冷風穴	M36	刈田郡小原村寒成山 N37 57 04.6 E140 30 38.7	白石南部	セヶ宿ダム 470 m	②③④⑥ ⑦⑧	滑落崖下の崖錐を造成 石垣囲残存
	渡瀬風穴	—	刈田郡セヶ宿村渡瀬 N37 57 24.0 E140 30 50.7	白石南部	セヶ宿ダム 290 m	—	崖錐を造成 石垣囲残存
	野上風穴	—	柴田郡川崎村	今宿	野上(のじょう)	⑥	高速道路建設により消滅
	花山風穴	—	栗原郡花山村	花山湖		⑥	—
栗駒風穴	M40	栗原郡栗駒村	沼倉	上田	⑥	『栗駒村誌』に川台風穴	
福島県	伊達風穴 (御在所風穴)	M37	伊達郡茂庭村御在所 N37 52 37.3 E140 26 38.7	中茂庭	御在所山 358 m	②③④⑥ ⑦⑧	地すべり凹地底を造成
	平澤風穴	M13	伊達郡睦合村平澤 N37 51 14.9 E140 29 36.9	中茂庭	平沢山 330 m	②③④	地すべり地形を造成 採石場の掘削で消滅
	湯野風穴● (角間風穴)	—	伊達郡湯野村 N37 51 16.4 E140 26 24.3	中茂庭	高清水 252 m	③④⑥⑦ ⑧	地すべり地形を造成 種子貯蔵の地下室残存
	鶉巣風穴	—	南会津郡大宮村鶉巣	会津山口	鶉巣(とうのす)	⑥	—
	高森風穴	—	南会津郡大宮村大新田 N37 12 33.4 E139 32 01.2	会津山口	大新田 547 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	中山風穴	—	南会津郡湯野上 N37 17 23.3 E139 53 57.1	湯野上	湯野上 490 m	—	国天然記念物 地すべり地形 を造成 石垣囲残存 見学用
	黒岩風穴	—	摩耶郡加納村	川入	黒岩	⑥	—
	瀧風穴 (岩代風穴)	—	岩瀬郡白方村瀧 N37 18 52.3 E140 11 13.5	岩代長沼	滝 440 m	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 林道工事により消滅
	天栄山風穴	—	岩瀬郡牧本村	岩代長沼	天栄山	③⑦⑧	—
	中野風穴	—	信夫郡中野村	福島北部	中野	③⑥⑦⑧	—
	瀧谷風穴△	—	大沼郡原谷村瀧谷 N37 29 16.6 E139 41 43.5	宮下	滝谷 228 m	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 復元小屋H30年 (管理者 NPOまちづくりみしま)
	新潟県	福山風穴	—	北魚沼郡小出町青島地内福山 N37 12 30.0 E138 56 59.1	小出	福山橋 190 m	⑥
寺石風穴 (山伏山風穴)		M45	中魚沼郡上郷村寺石山伏山北方 N37 01 38.1 E138 34 48.3	松之山 温泉	山伏山 800 m	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 見学用(津南キャンプ場)
見倉の風穴△		—	中魚沼郡津南町見倉 N36 54 46.6 E138 38 33.7	苗場山	見倉 700 m	—	集落の共同風穴小屋現存 地すべり地形
富山県	北陸風穴	—	婦負郡仁歩村松倉	五百石	小又	③④⑦⑧	採石場の落石により埋没
	城山風穴	—	婦負郡山田村谷村涌ヶ口 N36 33 06.2 E137 03 56.5	山田温泉	山田谷 345 m	⑥	地すべり地形を造成 石垣囲残存
石川県	栃木風穴	M42	鳳至郡樺比村栃木 N37 16 43.4 E136 47 00.7	門前	栃木(とちのき) 60 m	③⑦⑧	人工洞穴
福井県	荒島風穴△	—	大野郡上庄村荒島山 N35 56 56.7 E136 34 21.5	荒島岳	小荒島岳 640 m	③④⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲復元 冷蔵実験小屋(H24年農林楽舎)
	越知山風穴	—	丹生郡糸生村小川	織田	小川	③⑥⑦⑧	—
	大谷風穴	—	丹生郡糸生村小川 N36 00 00.6 E136 03 35.1	織田	小川 175 m	⑥	谷壁を造成 石垣囲残存
茨城県	天狗風穴	—	筑波郡小田村山口天狗 N36 10 37.9 E140 07 59.3	柿岡	不動峠 333 m	⑥⑦	人工洞穴 地すべり地形
群馬県	荒船風穴	M38	北甘楽郡西牧村南牧野 N36 14 48.4 E138 38 07.6	荒船山	荒船風穴* 835 m	②③④⑥ ⑦⑧	世界文化遺産 見学用に整備 地すべり地形を造成
	星尾風穴△	M23	北甘楽郡尾澤村星尾 N36 10 23.0 E138 38 42.0	荒船山	大上 633 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その3)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
群馬県	大見山風穴 △	T1	多野郡中里村平原 N36 05 06.2 E138 48 49.6	神ヶ原	平原(へばら) 730 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	榛名風穴 ● (伊香保風穴)	—	北群馬郡伊香保町 N36 29 06.1 E138 54 34.0	伊香保	風穴* 1020 m	④	崖錐を造成 石垣囲残存
	榛名風穴 (黒岩風穴)	M36	群馬郡室田村榛名山御料地 N36 27 42.8 E138 53 50.4	伊香保	風穴* 900 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	東谷風穴 (吾妻風穴)	M40	吾妻郡名久田村大塚 N36 37 57.8 E138 52 37.3	上野中山	山主坂 710 m	③④⑥⑧	国史跡 尾根部を造成 石垣囲残存
	石墨風穴 (利根風穴)	M39	利根郡薄根村石墨 N36 41 21.7 E139 02 42.0	後閑	石墨 480 m	③④⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	幡谷風穴 △	—	利根郡片品村幡谷 N36 43 07.3 E139 12 28.7	追貝	幡谷 700 m	⑥	崖錐を造成 コンクリート風穴 小屋現存(管理者 千明 圭)
	水谷 ●	—	吾妻郡草津町 N36 37 39.0 E138 34 41.7	上野草津	西ノ河原 1300 m	—	溶岩流間凹地 岩塊間の洞穴 板壁・棚現存
鬼押し出園 △	—	吾妻郡草津町 N36 26 37.1 E138 32 13.2	北軽井沢	鬼押し出園 1325 m	—	風穴小屋残存	
埼玉県	秩父風穴	—	秩父郡大滝村大滝巢場	三峰	巢場	③⑥⑦⑧	—
	大滝風穴	—	秩父郡大滝村大滝	三峰	大滝	③⑦⑧	—
	三田川風穴	—	秩父郡倉尾村藤倉	長又	白石山	③⑥⑦⑧	洞穴(鍾乳洞)
東京都	檜原風穴 (多摩風穴)	—	西多摩郡檜原村 N35 41 46.2 E139 08 27.3	五日市	柏木野 510 m	④⑥⑧	崖錐を造成 石垣囲(3基)残存
山梨県	風穴ノ沢	—	東山梨郡田野村 N35 41 19.6 E138 51 14.4	大菩薩峠	黒岳 1785 m	—	岩塊地形を造成 石垣囲残存 岩科小一郎『大菩薩連嶺』に記載
	菱山風穴	M10	東山梨郡菱山村 N35 40 19.1 E138 45 55.1	大菩薩峠	菱山 895 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	袖口風穴	M22	東山梨郡諏訪村 N35 47 29.9 E138 42 10.2	川浦	大久保山 1388 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	大久保風穴	M12	東八代郡境川村 N35 34 58.7 E138 41 48.9	河口湖 西部	滝戸山 1180 m	②③④⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	栃山風穴	M31	東八代郡金生村 N35 33 36.3 E138 37 38.9	石和	大栃山 955 m	③④⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	狐新居風穴	M33	東八代郡御代咲村 N35 37 48.6 E138 42 11.7	石和	狐新居 475m (きつねあらい)	②④⑦⑧	扇状地を造成した地下室現存 (現所有者 古屋勝仁)
	四尾連 蛾岳風穴	—	西八代郡山保村 N35 31 41.9 E138 31 03.8	市川大門	四尾連湖 900 m	⑥	地すべり地形を造成 人工凹地のみ残存
	蛾岳風穴	M26	西八代郡山保村	市川大門	蛾岳	②③⑥⑦⑧	—
	久那土風穴	—	西八代郡久那土村	精進ノ切石	—	⑥	—
	瀬戸風穴 △	M19	西八代郡古関村 N35 29 02.4 E138 32 06.5	精進	瀬戸 420 m	②③⑦⑧	凝灰岩壁の洞穴
	富士見風穴	M19	南巨摩郡曙村 N35 27 47.4 E138 22 54.3	切石	富士見山 1350 m	②③⑥⑦⑧	岩塊下の洞穴
	久田子風穴 △	M28	南巨摩郡硯島村 N35 24 26.5 E138 20 55.0	七面山	久田子(くたし) 521 m	②③④⑦ ⑧	実用天然冷蔵倉庫 崖錐を造成(所有者 望月明晴)
	清川風穴 (清風社風穴)	M22	中巨摩郡清川村 N35 47 39.8 E138 31 31.5	茅ヶ岳	ノースランド 1180 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	芦安風穴	—	中巨摩郡芦安村 N35 38 14.1 E138 23 22.3	小笠原	石塔 625 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	鷺ノ口風穴 (金ヶ嶽風穴)	M20	北巨摩郡江草村	若神子	根古屋	②③④⑥⑦	—
	城山の風穴	—	北巨摩郡江草村 N35 49 10.7 E138 27 58.1	若神子	根古屋 740 m	—	崖錐を造成 石垣囲残存
	蔦木風穴	K	北巨摩郡風来村矢ノ原 N35 51 41.2 E138 16 35.3	小淵沢	下蔦木 720 m	①②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣わずかに残存 かなり崩れている
熊沢風穴	M25	北都留郡丹波山村 N35 46 53.7 E138 56 10.8	丹波	大丹波峠 860 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存	

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その4)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
山梨県	釜ノ沢風穴	M25	北都留郡丹波山村 N35 48 05.4 E138 56 24.6	丹波	丹波天平 1010 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	富士風穴	M32	西八代郡上九一色村 N35 27 02.1 E138 39 08.3	鳴沢	富士風穴* 1115 m	②③④⑥ ⑦⑧	国天然記念物 熔岩洞穴
	森風穴 (本栖風穴)	—	西八代郡上九一色村 N35 26 49.4 E138 39 03.6	鳴沢	本栖風穴* 1150 m	⑥	国天然記念物 熔岩洞穴
	富士龍宮風穴 (龍宮洞穴)	—	南都留郡西湖村青木ヶ原 N35 29 05.3 E138 40 05.8	鳴沢	龍宮洞穴* 955 m	③④⑥⑦ ⑧	国天然記念物 熔岩洞穴
	青木ヶ原風穴 (西湖蝙蝠穴)	—	南都留郡西湖村青木ヶ原 N35 29 35.7 E138 40 23.6	鳴沢	西湖蝙蝠穴* 925 m	③⑥⑦⑧	国天然記念物 熔岩洞穴 入洞 施設(西湖コウモリ穴管理事務所)
	富岳風穴	—	南都留郡鳴沢村 N35 28 39.4 E138 39 27.2	鳴沢	富岳風穴* 1000 m	③⑥⑦⑧	国天然記念物 熔岩洞穴 入洞施設(富士観光興業)
	富士天然風穴 (軽水風穴)	—	南都留郡鳴沢村軽水 N35 26 32.3 E138 40 03.6	鳴沢	長尾山 1265 m	③⑥⑦⑧	山梨県天然記念物 熔岩洞穴
静岡県	天城風穴●	M25	田方郡上大見村筏場下イヤ N34 53 38.8 E138 58 22.6	湯ヶ島	筏場 600 m	②③④⑥ ⑦⑧	筏場種子貯蔵庫残存 カフゴ平熔岩の凹地
	安倍風穴 (有東木風穴)	M15	安倍郡大河内村有東木 N35 12 29.2 E138 23 29.9	篠井山	有東木 1305 m	②③⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 青笹山登山コース
	都田風穴 (滝沢鍾乳洞)	M35	引左郡都田村滝澤本村 N34 51 30.8 E137 43 02.7	伊平	滝沢 160 m	②⑧	洞穴(鍾乳洞) 解説板 滝沢小学校跡ウラ
愛知県	池場風穴△	—	北設楽郡三輪村長岡姥ヶ塚 N35 00 59.8 E137 41 14.7	三河本郷	松平 240 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	菌目風穴	—	北設楽郡園村東菌目川又 N35 05 49.3 E137 43 56.3	見出	向平 400 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	設楽風穴	—	北設楽郡御殿村中設楽城山	三河本郷	中設楽	⑥	道路工事により消滅
長野県	入澤風穴●△	M17	南佐久郡青沼村入澤 N36 10 40.6 E138 29 43.1	臼田	入沢 735 m	①②③④⑤ ⑥⑦	佐久市天然記念物 貯蔵庫現 存 開口節理(所有者 三石嗣佳)
	古屋ヶ澤風穴	—	北佐久郡平根村上平尾古屋ヶ澤 N36 17 02.0 E138 31 31.3	御代田	平尾富士 1055 m	③④⑤⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣わずかに残存 かなり埋積
	東信風穴	—	北佐久郡川辺村大久保前山	小諸	大久保	③④⑤⑥⑦	土地造成により消滅
	小諸風穴	M10	北佐久郡川辺村大久保前山 N36 19 35.3 E138 23 48.7	小諸	大久保 630 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	土地造成により消滅 地すべり地形
	氷風穴△	M8	北佐久郡川辺村大久保水 N36 19 32.5 E138 23 32.8	小諸	氷(こおり) 645 m	③④⑤⑥ ⑦⑧	地すべり地形を造成 風穴小屋現 存(氷風穴の里保存会)
	柳澤風穴	—	北佐久郡川辺村大久保前山	小諸	大久保	①③④⑤⑦	土地造成により消滅
	神明山風穴	—	北佐久郡本牧村茂田井新町 N36 16 24.5 E138 20 25.6	丸子	茂田井 700 m	⑥	人工洞穴
	蓼北風穴	—	北佐久郡協和村延澤八丁地 N36 13 36.9 E138 18 43.7	春日本郷	畳石 875 m	③④⑤⑥ ⑦⑧	開口節理のある崖下 鉄平石の石 積小屋残存(所有者 清水基介)
	青木風穴 (村松の風穴)	T13 S14	小県郡青木村村松 N36 23 22.1 E138 07 03.1	信濃西条	子檀嶺岳 920 m	—	青木村文化財(産業史跡) 崖錐を造成 石垣囲残存
	別所風穴 (氷澤風穴)	M4	小県郡別所村氷澤 N36 20 12.7 E138 08 55.5	別所温泉	上手 850 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 見学用に整備
	立岩風穴	—	小県郡長窪町古六反田 N36 17 08.0 E138 15 00.8	丸子	立岩 610 m	⑥	崖錐を造成 埋め戻しにより消滅
	獨鈷山風穴	M25	小県郡西鹽田村前山大久保 N36 20 11.9 E138 11 39.6	別所温泉	塩野池 665 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 独鈷山風穴の標柱あり
	上田風穴 (金剛寺風穴)	M16	小県郡神科村住吉大古場 N36 26 11.0 E138 16 37.2	上田	東大郎山 885 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	伏見風穴●	—	小県郡武石村武石半台 N36 16 52.5 E138 14 37.4	武石 (たけし)	中島 625 m	③④⑤⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 下武石中島に伏見風穴舎
	武石風穴一号	—	小県郡武石村下本入 N36 16 47.3 E138 13 56.0	武石	小沢根 650 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	武石風穴二号	—	小県郡武石村日影山 N36 16 20.2 E138 12 48.9	武石	日影山 729 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その5)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
長野県	武石唐沢	—	小県郡武石村唐沢	武石	小原	—	実用冷蔵倉庫(管理者 柿蔭洋一)
	農山漁村活性化 集出荷施設 △	H4	小県郡長和町横町 N36 15 18.4 E138 15 37.5	丸子	横町 671 m	—	崖錐を造成 実用冷蔵倉庫 玄蕎麦貯蔵
	との入沢風穴	—	小県郡依田村御岳堂 N36 19 36.9 E138 15 04.0	丸子	上組 740 m	—	崖錐を造成 石垣困残存
	東内風穴	—	小県郡東内村和子 N36 18 47.2 E138 13 41.7	武石	和子(わご) 590 m	⑥	崖錐を造成 石垣困残存 (所有者 滝沢利通)
	富士山風穴	—	小県郡富士山村556 N36 19 34.5 E138 13 14.2	別所温泉	富士山 745 m	⑥	崖錐を造成 石垣困残存
	大門風穴	—	小県郡大門村笹平 N36 13 25.0 E138 14 56.9	和田	宮ノ上 740 m	⑥	崖錐を造成 種子貯蔵の地下室残存
	菅ノ沢風穴 ●	—	小県郡傍陽村三島平 N36 28 03.2 E138 19 04.8	真田	三島平 956 m	—	コンクリート小屋現存 崖錐を造成 『真田町誌民俗編』に記載
	水平風穴	—	小県郡傍陽村白石 N36 28 09.1 E138 16 09.4	真田	中組 1058 m	③④⑤⑥⑦ ⑧	地すべり地形を造成 石垣困残存 (所有者 武捨直江)
	栃平風穴	—	小県郡傍陽村栃平 N36 28 16.3 E138 16 38.9	真田	中組 885 m	—	地すべり地形を造成 石垣困残存 『真田町誌民俗編』に記載
	唐澤風穴	—	小県郡傍陽村国有林地 N36 27 57.7 E138 14 12.3	坂城	唐沢 1010 m	⑥	崖錐を造成 石垣困残存
	豊平風穴	M37	諏訪郡豊平村小泉 N36 00 11.5 E138 11 48.4	蓼科	小泉山 890 m	①②⑥⑧	崖錐を造成 石垣困残存 見学用に整備
	湖南風穴 (大見山風穴)	M35	諏訪郡湖南村南真志野大見山 N36 00 02.6 E138 05 17.7	諏訪	真志野峠 1070 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	神宮寺風穴 ● (片山風穴)	—	諏訪郡中州村神宮寺片山 N35 59 47.6 E138 07 25.8	辰野	神宮寺 775 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	地すべり地形を造成 種子貯蔵風穴小屋残存
	槻ノ木風穴	M36	諏訪郡泉野村槻ノ木岩下 N35 59 59.6 E138 14 56.0	茅野	泉野 1115 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	凝灰岩壁の人工洞穴
	立場山風穴 (ハヶ岳風穴)	M25	諏訪郡玉川村ハヶ岳山麓編蝠岩 N35 57 23.8 E138 20 36.5	ハヶ岳 西部	立場川 2020 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	凝灰角礫岩の洞穴 立場川谷底部
	小野風穴 (向田風穴)	M1	上伊那郡小野村雨澤向田 N36 01 44.5 E137 58 11.5	北小野	下雨澤 850 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	洞穴(鍾乳洞) 埋め戻し
	小横川風穴 (伊那富風穴)	M20	上伊那郡伊那富村小横川矢花 N35 59 46.2 E137 57 52.3	宮木	小横川 795 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	荊口風穴	—	上伊那郡三好村荊口	高遠	荊口(ばらくち)	③④⑤⑦⑧	—
	水無風穴	M31	上伊那郡七久保村水無	赤穂	七久保	①②⑦⑧	—
	松平風穴 (西春近風穴)	—	上伊那郡西春近村新道東松平	伊那宮田	西春近	①②⑥⑦⑧	—
	小川路風穴	M20	下伊那郡上村小川路峠	上町	小川路峠	①②⑦⑧	—
	大鹿風穴	—	下伊那郡大鹿村大河原上蔵山 N35 32 45.4 E138 03 52.8	信濃大河原	上蔵(わぞ) 1105 m	⑥	地すべり地形 滑落崖下を造 成 石垣一部残存
	大谷風穴	M22	下伊那郡智里村本谷大谷 N35 27 11.7 E137 37 22.1	中津川	阿智村 1240 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存 本谷谷底部
	中ノ澤風穴	—	下伊那郡智里村神坂山中ノ澤 N35 27 24.4 E137 38 17.3	伊那駒場	ヘブンスそ のほら 1375	③④⑤⑥⑦	崖錐を造成 石垣困残存
	不動風穴	—	下伊那郡智里村本谷不動	伊那駒場		③④⑤⑥⑦	—
	正木風穴	M41	下伊那郡智里村御坂正木	伊那駒場		③⑤⑥⑦⑧	—
	折澤風穴	—	下伊那郡智里村本谷折澤	伊那駒場		②③⑤⑥⑦	—
	権現山風穴	—	下伊那郡上飯田村権現山 N35 32 58.2 E137 47 14.0	飯田	風越山 1440 m	③④⑤⑥	アーチ型石積残存 開口節理
	飯田風穴 (風穴山の風穴)	—	上飯田村松川入内檜澤砂小屋 N35 35 31.6 E137 44 42.1	南木曾岳	風穴山 1685 m	⑤⑥	花崗岩の岩塊地形を造成 アーチ型石積残存
	棚洞風穴	—	下伊那郡清内路村孫六澤棚洞 N35 31 36.7 E137 40 49.2	兀岳	孫六沢 1235 m	③④⑤⑦⑧	花崗岩の岩塊地形を造成 石垣困残存
岡目風穴	—	西筑摩郡神坂村三坂南方御料地	中津川	櫻平	③④⑤⑥⑦	崖錐を造成	
神坂横穴風穴	—	西筑摩郡神坂村三坂南方御料地	中津川	櫻平	③④⑤⑥	崖錐を造成	

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その6)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
長野県	進栄社風穴	M17	西筑摩郡神坂村三坂北ノ方御料地 N35 28 40.3 E137 36 47.3	中津川	樺平 1110 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存 強清水近傍
	神坂社風穴	M38	西筑摩郡神坂村三坂南方御料地 N35 29 08.7 E137 36 14.3	中津川	樺平 945 m	①②③④⑤ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	大洞風穴	M16	西筑摩郡神坂村三坂大洞	中津川	樺平	③④⑤⑥	崖錐を造成
	木原風穴	—	西筑摩郡神坂村三坂北ノ方御料地	中津川	樺平	③④⑤⑦⑧	崖錐を造成
	共栄社風穴	M26	西筑摩郡神坂村三坂北ノ方御料地	中津川	樺平	③④⑤⑥	崖錐を造成 石垣困 見学用に整備
	坂下風穴	M38	西筑摩郡神坂村三坂北ノ方御料地	中津川	樺平	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成
	三坂東野風穴	—	西筑摩郡神坂村三坂御料地南	中津川	樺平	③④⑤	崖錐を造成
	塚田風穴	—	西筑摩郡神坂村三坂北帝室林野	中津川	樺平	③④⑤⑥	崖錐を造成
	萬栄風穴	M41	西筑摩郡神坂村三坂御料地南	中津川	樺平	③④⑤⑥⑦	崖錐を造成
	中央風穴	—	西筑摩郡神坂村三坂御料地内	中津川	樺平	④⑤⑥	崖錐を造成
	上田風穴	—	西筑摩郡神坂村三坂北方御料地	中津川	樺平	①②④⑤	崖錐を造成
	殿風穴	—	西筑摩郡大桑村殿小川 N35 43 02.5 E137 40 02.8	木曾須原	小川 810 m	③④⑤⑦⑧	崖錐を造成 石垣わずか残存 かなり埋積
	福嶋風穴	—	西筑摩郡福島町柴原	木曾福島		③④⑤⑦⑧	—
	木曾風穴 (日義風穴)	M16	西筑摩郡日義村宮ノ越西山 N35 53 45.7 E137 45 40.3	宮ノ越	德音寺 980 m	①②④⑤⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	忠地風穴	—	西筑摩郡奈川村入山下神場平	梓湖	入山	③⑤⑥⑦⑧	—
	上野風穴	—	西筑摩郡新開村上野大上野 N35 51 46.8 E137 43 07.3	木曾福島	上野 800 m	③⑤⑥⑦⑧	崖錐を造成 道路拡幅埋め戻し ビニールハウスの実用風穴
	三岳風穴	M29	西筑摩郡三岳村三尾橋渡ホケ	上松	黒田	①②④	—
	荒田風穴	M3	東筑摩郡本城村東條荒田山 N36 23 56.0 E138 02 00.8	信濃西条	岩戸 725 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存 荒田風穴の標柱あり
	香炉山風穴 △	M19	東筑摩郡本城村東條ゴ一口 N36 24 07.5 E138 01 47.4	信濃西条	岩戸 710 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	東條風穴 △	—	東筑摩郡本城村東條87 N36 23 56.0 E138 02 00.8	信濃西条	岩戸 720 m	⑥	崖錐を造成 石垣困残存
	上平山風穴 (野口の風穴)	M1	東筑摩郡麻績村野口上平 N36 25 51.1 E138 02 21.4	麻績	野口 910 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	地すべり地形を造成 石垣困復元 解説板あり
	乱橋氷山風穴	M4	東筑摩郡本城村乱橋氷山 N36 22 34.3 E138 00 43.4	信濃西条	乱橋東村 905 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 水武神社境内に小屋現存
	船附風穴	M9	東筑摩郡入山辺村舟付上ノ山 N36 13 19.5 E138 01 52.9	山辺	舟付 820 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	八龍風穴	M13	東筑摩郡入山辺村 橋倉八竜山越	山辺	林城址	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	—
	錦風穴	M41	東筑摩郡入山辺村中入堀ノ澤	山辺	厩所	③④⑤⑥⑦	—
	桐原風穴	—	東筑摩郡入山辺村山ノ神日向	山辺	桐原	④⑤⑥	—
	武石嶺風穴 (武石風穴)	K1 T8	東筑摩郡本郷村武石峠 N36 15 27.8 E138 04 39.2	三才山	武石峠 1820 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	茶屋の地下にあった風穴 埋め戻し 記念碑あり
	針尾風穴	—	東筑摩郡朝日村針尾大尾澤 N36 06 31.0 E137 50 48.3	古見	大尾澤 1135 m	③④⑤⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣困残存 (所有者 上條洋治)
	鷺澤風穴	M41	東筑摩郡波多村サギ澤	波田	鷺沢	③④⑤⑥⑦	—
	塩尻風穴	—	東筑摩郡塩尻村棧敷四澤	塩尻	棧敷	⑤	—
	三歳山風穴	—	東筑摩郡本郷村三才山中ノ澤 N36 16 05.7 E138 02 34.6	三才山	中の沢 1020 m	⑥	崖錐を造成 石垣困残存
	嶋々風穴	M9	南安曇郡安曇村島々	波田	島々	②③④⑤⑥ ⑦⑧	—
中澤風穴 (大野川風穴)	—	南安曇郡安曇村大野川	梓湖	大野川	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	—	
風穴本元 ●△ (前田風穴)	B1	南安曇郡安曇村稻核家ノ浦 N36 09 39.9 E137 45 44.7	古見	稻核(いねこき) 820 m	①②③④⑤ ⑥⑦	M12年建造の風穴の蔵現存 崖錐を造成	

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その7)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
長野県	氷澤風穴	M17	南安曇郡安曇村稲核氷澤	古見	稲核	①②③④⑤ ⑥⑦	近傍の国道沿いに 食堂が利用した風穴小屋残存
	明ヶ平風穴	K1	南安曇郡安曇村稲核明ヶ平 N36 10 10.6 E137 46 22.6	波田	明ヶ平 790 m	①②③④⑤ ⑥⑦	崖錐を造成 石垣囲残存
	茗荷平風穴	M3	南安曇郡安曇村稲核明ヶ平	波田	明ヶ平	③④⑤⑦⑧	—
	斎藤風穴	M37	南安曇郡安曇村家ノ向	古見	稲核	①③⑤⑥	—
	家ノ向風穴	M41	南安曇郡安曇村家ノ向	古見	稲核	①③⑤⑥⑦	—
	狸平風穴	—	南安曇郡安曇村狸平	古見	—	③④⑤	—
	上向川上風穴	—	南安曇郡安曇村稲核	古見	稲核	⑤⑥	—
	大正風穴	—	南安曇郡安曇村丸山	古見	稲核	⑥	—
	岩原風穴 △	—	南安曇郡烏川村岩原 N36 18 28.4 E137 48 30.6	信濃小倉	烏川第三発 電所 870	—	崖錐を造成 岩原新鮮市風穴貯蔵庫残存
	有明風穴	—	南安曇郡有明村中房朴	有明	観音峠	⑥	—
	海ノ口風穴 (猿ヶ城風穴)	M38	北安曇郡平村海ノ口北ノ入 N36 34 57.5 E137 49 41.1	大町	北村 1130 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	復元小屋H19年 崖錐を造成
	高嵐風穴	—	北安曇郡平村高瀬入高嵐	烏帽子岳	高嵐沢	⑥	高瀬ダムにより水没
	源汲風穴 ●	M22	北安曇郡平村源汲琵琶唐澤 N36 33 52.7 E137 47 11.3	大町	源汲(げんくゆう) 1275 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	土石流堆を造成 種子貯蔵風穴小屋残存
	平出風穴	M7	北安曇郡広津村平出 N36 26 34.1 E137 54 01.0	信濃池田	平出 740 m	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	鷹狩風穴 △	—	北安曇郡八坂村南鷹狩 N36 29 47.6 E137 53 07.6	信濃池田	南鷹狩山 870 m	③④⑤⑥⑦ ⑧	復元小屋H20年実用冷蔵倉庫 (管理者 NPO地域づくり工房)
	森風穴	M45 S16	埴科郡森村北ノ塔 N36 30 59.0 E138 10 11.9	信濃松代	大峯山 530 m	⑥	崖錐を造成 複数の石垣囲残存
	松代風穴	—	埴科郡西條村大嵐 N36 32 01.3 E138 11 43.8	信濃松代	筒井 720 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	夜間瀬風穴	—	下高井郡夜間瀬村城山 N36 45 39.0 E138 25 07.2	夜間瀬	横倉 690 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存 解説板腐朽
	寒澤風穴	M19	下高井郡穂波村寒澤三沢 N36 42 08.9 E138 25 01.5	中野東部	三沢山 1040 m	①②⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	祖山風穴	M21	上水内郡棚村祖山平前	戸隠	中部	①②③④⑤ ⑥⑦⑧	採石場掘削により消滅
七二會風穴 (大平風穴)	—	上水内郡七二會村大平 N36 38 25.7 E138 03 47.8	信濃中条	臥雲 935 m	⑤⑥⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 大平風穴 屋根復元	
太田風穴	M19	下水内郡太田村豊田岩下	猿橋	五束	①②⑥⑧	—	
岐阜県	根尾中神風穴	—	本巢郡根尾村大井	樽見	大井	⑥	—
	七宗風穴	—	武儀郡上麻生村 N35 34 20.3 E137 06 49.1	上麻生	室兼 225 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	鷺見風穴	—	郡上郡高鷺村鷺見	大鷺	鷺見	③④⑥⑦⑧	宅地化により消滅
	有穂風穴	M40	郡上郡口明方村有穂 N35 50 36.9 E137 00 21.0	二間手	石仏 480 m	③④⑥⑦⑧	郡上市史跡 崖錐を造成 石垣囲残存
	岩浪風穴	M40	加茂郡飯地村岩浪 N35 27 38.0 E137 17 24.7	武並	岩浪 345 m	③⑦⑧	地すべり地形 遺構なし 住居に冷風を引込む実用風穴
	荒ヶ峯風穴	—	恵那郡上村荒ヶ峯御料林	—	—	③⑦⑧	—
	付知風穴	—	恵那郡上村加子母西渡股入尊樽 N35 44 00.7 E137 26 14.6	加子母	高樽谷 740 m	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 石ム口残存
	加子母風穴	M40	恵那郡上村加子母村渡合 N35 43 58.6 E137 23 10.8	加子母	木曾越峠 1145 m	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	白井沢風穴	—	恵那郡上村白井沢	—	—	③⑦⑧	—
	小沢風穴	—	恵那郡本郷村小沢	岩村	小沢山トンネル	③⑦⑧	阿木川ダムにより水没
	恵那山風穴	—	恵那郡落合村水無御料林	中津川	落合川	③⑦⑧	—
	クテ風穴	—	恵那郡川上村クテ御料林	三留野	川上	③⑦⑧	—
	武並風穴	—	恵那郡武並村藤	武並	藤	③⑦⑧	—

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その8)

都道府県	風穴名 (別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
岐阜県	山本風穴	—	恵那郡東野村山本 N35 25 35.7 E137 25 39.7	恵那	阿木川ダム 350 m	③⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 道路沿いに風穴記念碑
	古関風穴	M40	益田郡川西村古関 N35 52 28.7 E137 12 02.0	萩原	古関(ふるせき) 550 m	③⑥⑦⑧	下呂市有形民俗文化財 崖錐を造成 石垣囲残存
	竹原風穴 (中尾風穴)	—	益田郡竹原村	宮地	竹原	⑥	—
	一之谷風穴	—	益田郡竹原村御厨野一之谷 N35 47 22.0 E137 20 37.2	宮地	拝殿山 1025 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存
	国栄風穴 (川上風穴)	M36	益田郡馬瀬村川上(かおれ) N35 56 09.7 E137 07 49.1	山之口	芋島 640 m	②③⑥⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	小野風穴 (飛驒風穴)	M38	大野郡丹生川村小野ノ谷 N36 01 44.5 E137 58 11.5	町方	下小野 850 m	②③④⑥ ⑦⑧	高山市天然記念物 崖錐を造成 石垣囲残存
	共同蒲田風穴 (高原風穴)	—	吉城郡上宝村神坂	笠ヶ岳	蒲田	③⑥⑦⑧	—
布勢風穴	—	吉城郡河合村保木林 N36 17 57.5 E137 04 30.2	角川	保木林 495 m	⑥	安政地震の崩壊地を造成 岩塊の洞穴	
滋賀県	佐目風穴	—	神崎郡山上村佐目 N35 12 16.2 E136 20 37.7	高宮	佐目 240 m	⑥	洞穴(鍾乳洞)
	伊吹風穴	M41	坂田郡伊吹村小泉	関ヶ原	小泉	③⑥⑦⑧	洞穴(鍾乳洞)
三重県	太郎生風穴 (岩山風穴)	—	一志郡太郎生村池之平(亀山) N34 31 39.1 E136 10 22.9	俱留尊山	俱留尊山 677 m	③④⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	青海道風穴	—	一志郡太郎生村	俱留尊山	太郎生(たろう)	⑥	—
	赤目瀧風穴	—	名賀郡瀧川村 N34 34 21.4 E136 04 48.9	大和大野	瀧 265 m	⑥	崖錐を造成 小規模な石垣囲残存
奈良県	吐山風穴	M22	山辺郡都介野村吐山 N34 34 11.0 E135 57 13.2	初瀬	城福寺 550 m	②③④⑦ ⑧	地すべり地形を造成 石垣囲残存
	紅ヶ岳風穴	M39	宇陀郡曾爾村伊賀見 N34 32 53.1 E136 09 17.6	俱留尊山	瓜ヶ久保 505 m	③④⑥⑦ ⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	屏巖風穴	—	宇陀郡曾爾村長野	大和大野	屏風岩	③④⑦⑧	崖錐を造成
	大東風穴	—	宇陀郡三本松村西谷	大和大野	西谷	⑥	崖錐を造成
京都府	丹後風穴	—	竹野郡上宇川村遠下 N35 43 56.1 E135 09 04.5	丹後平	遠下(おんげ) 45 m	③④⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
大阪府	亀ノ瀬風穴	—	南河内郡国分村下ツカ	大和高田	亀瀬岩	⑥	—
	稲葉風穴	—	中河内郡堅上村峠	大和高田	峠	⑥	—
和歌山県	龍門山風穴	—	那賀郡龍門村杉原龍門山 N34 14 26.1 E135 24 29.3	龍門山	龍門山 630m	③④⑥⑦ ⑧	洞穴(地すべり地形) 解説板
	高野風穴	—	伊都郡高野村西ヶ峯	高野山	西ヶ峯	③⑦⑧	—
	熊野風穴	—	西牟婁郡三舞村久木 N33 38 01.1 E135 27 57.6	富田	久木(ひさぎ) 20 m	③⑥⑦⑧	日置川畔の 橋梁工事により消滅
兵庫県	西気風穴 △ (神鍋風穴)	M37	城崎郡西気村ノ内栗塚本神鍋山 N35 30 12.7 E134 40 18.4	神鍋山	神鍋山 345 m	②④⑦⑧	山陰海岸ジオパーク ジオサイ ト 熔岩洞穴を人工開削
鳥取県	大山風穴	—	西伯郡大山村王曾根 N35 23 21.8 E133 32 05.0	伯耆大山	大山寺 835 m	③④⑦⑧	石垣囲残存 風穴でなく雪囲いの遺構
	三徳第一風穴	M40	東伯郡三徳村門前 N35 24 14.4 E133 57 10.6	三朝	三徳山 320 m	③⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存 見学用に整備
	三徳第二風穴 (坂本風穴)	M41	東伯郡鼎村坂本 N35 24 26.8 E133 57 05.1	三朝	黒川 360 m	③⑦⑧	崖錐を造成 石垣囲残存
	船上山風穴	M41	東伯郡西村山川	船上山	船上山	③⑦⑧	—
	因幡風穴	M41	八頭郡明治村上村	用瀬ノ岩坪		③⑦⑧	—
岡山県	金平山風穴	—	川上郡平川村大ソリノ下	備中市場	本宮	③④⑥⑦⑧	洞穴(鍾乳洞)
	後山風穴	—	英田郡東粟倉村後山 N35 09 34.3 E134 22 55.0	千草	中筋 420 m	⑥	崖錐を造成 石垣囲残存

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その9)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
島根県	須佐風穴	M14	飯石郡東須佐村朝原	掛合	郷	②③④⑦⑧	—
	八雲風穴 △	M35	飯石郡東須佐村朝原 N35 14 33.7 E132 45 09.5	掛合	郷 175 m	②③④⑥ ⑦⑧	見学用小屋・地下室 崖錐を造成(管理者 八雲風穴風太郎)
	岩山風穴	M35	簸川郡稗原村稗原	稗原	稗原	③④⑥⑧	—
	青野山 水津風穴	M36	鹿足郡小川村笹山大久保 N34 27 49.6 E131 47 18.4	津和野	青野山 470 m	②③④⑥ ⑦⑧	崖錐を造成 石垣残存 かなり埋積
	青野山風穴	—	鹿足郡小川村耕田青野山 N34 28 19.9 E131 48 13.0	津和野	青野山 315 m	②③④⑥⑦	見学用コンクリート洞
	白絲風穴	—	鹿足郡畑迫村高峯	津和野	高峯	⑥	—
広島県	備後風穴	M42	比婆郡久代村 N34 52 23.7 E133 18 32.9	東城	大二吾迫 440 m	⑥⑧	崖錐を造成 石垣困残存
	萬念風穴	—	世羅郡三川村	本郷	久恵	③④⑥⑦⑧	三川ダムに水没
	中国風穴	—	神石郡油木村草木	油木	油木町	⑥	—
	来見 △	—	山県郡加計町来見 N34 33 24.8 E132 23 03.4	飯室	来見 100 m	—	石垣圏内にレンガ造風穴小屋 崖錐を造成
山口県	高根風穴	—	玖珂郡高根村 N34 22 50.7 E132 01 02.0	宇佐郷	宇佐郷上 325 m	③⑦⑧	洞穴(地すべり地形)
徳島県	箸蔵風穴 ●	—	三好郡箸蔵村洲津 N34 01 57.5 E133 49 11.3	阿波池田	中津 90 m	③④⑦⑧	崖錐を造成 種子保存用の コンクリート小屋残存
	清水越風穴	—	美馬郡江原村	西赤谷	清水	③⑦⑧	—
香川県	高鉢山風穴	—	讃岐郡西分村 N34 11 26.1 E133 56 20.7	滝宮	高鉢山 375 m	⑥	崖錐を造成 キャンプ場に見学用石垣囲
	志保山	—	三豊郡仁尾町 N34 11 12.5 E133 40 13.6	仁尾	志保山 170 m	—	崖錐を造成 見学用石垣囲
愛媛県	大成風穴	M33	上浮穴郡仙川村仙野 N33 42 07.4 E133 04 34.7	面河溪	風穴* 1010 m	②③④⑦ ⑧	久万高原町天然記念物 見学用復元小屋 地すべり地形
	大川風穴	M35	上浮穴郡弘形村大川	久万	大川	②③⑧	—
	折懸風穴	M28	周桑郡千足山村折懸	石鎚山	諏訪	②③④⑦⑧	—
	加茂風穴	M40	新居郡加茂村藤ノ原風透 N33 50 44.2 E133 12 44.2	西条	風透 390 m (かざすき)	③⑦⑧	洞穴(地すべり地形)
	皿ヶ嶺風穴	—	温泉郡重信町 N33 43 23.4 E132 53 06.3	石墨山	皿ヶ嶺 960 m	—	崖錐を造成 石垣困残存 鑑賞用ヒマラヤケシ栽培
高知県	大栃風穴	M35	香美郡楨山村大栃	大栃	大栃	②③④⑦⑧	—
	長者風穴 (平家穴)	M35	高岡郡長者村泉 N33 30 07.8 E133 05 40.5	柳井川	泉 800 m	②③④⑦⑧	洞穴(鍾乳洞) 洞口付近に石垣
	禰原風穴	M30	高岡郡西津野村禰原	禰原(ゆすはら)	大蔵谷	②③④⑦⑧	—
	江川崎風穴	M37	幡多郡江川崎村橋 鬼ヶ岩	口屋内	西土佐橋	②③④⑦⑧	—
	白髪山風穴 ●	—	長岡郡本山村 N33 48 49.3 E133 36.2	本山	白髪山 1240 m	③⑦⑧	崖錐を造成 石垣困残存
福岡県	奥の院風穴	—	嘉穂郡千手村古處山 N33 29 04.9 E130 43 43.0	甘木	古処山 765 m	③⑦⑧	石灰岩の節理の回廊状凹地
	古處風穴	—	嘉穂郡千手村古處山 N33 29 04.4 E130 43 42.2	甘木	古処山 775 m	③⑦⑧	石灰岩の節理の回廊状凹地
佐賀県	永野の風穴	—	杵島郡若木町永野 N33 16 03.8 E130 01 10.6	多久	永野 260 m	—	洞穴(地すべり地形) 見学用に整備(管理者 緒方靖章)

表1 全国風穴小屋(跡)一覧表(その10)

都道府県	風穴名(別名)	開業 廃止	所在地(旧町村字名) 緯度 経度	1/2.5万 地形図	近傍の地名 標高	文献	指定・地形・現況など
大分県	大船山風穴	M37	直入郡都野村有氏大船山 N33 06 09.0 E131 17 20.8	大船山	風穴* 1250m	②③④⑥ ⑦⑧	熔岩ドーム間の鞍部の洞穴 登山路分岐点
	耶馬溪風穴	M36	下毛郡柿山村嶋良新耶馬溪内	深耶馬溪	嶋良	②④⑧	—
	今市風穴	M31	大野郡今市村今市萩迫	豊後今市	萩迫	②④⑧	—
	鶴見風穴	M36	速見郡石垣村南立石温泉	別府西部	南立石	②④⑧	—
宮崎県	祖母風穴	M35	西臼杵郡田原村五ヶ所祖母山 N32 49 22.7 E131 20 14.0	祖母山	祖母山 1370 m	②③④⑥ ⑦⑧	洞穴(地すべり地形) 祖母山風穴コース
長崎県	鬼神谷風穴	M36	南高来郡小浜村龍之馬場国有林	島原	鬼人谷	②③⑥⑦⑧	岩塊熔岩を造成 石垣囲残存
	鬼神谷北風穴	M33	南高来郡小浜村龍之馬場国有林	島原	鬼人谷	②③⑥⑦⑧	岩塊熔岩を造成 石垣囲残存
	北穴 (北の風穴)	M9	南高来郡小浜村龍之馬場国有林 N32 45 51.4 E130 17 40.2	島原	風穴*位置スレ 1240 m	②③⑥⑦ ⑧	熔岩の開口節理の洞穴 (島原ジオパークのジオサイト)
	百間風穴	M36	南高来郡小浜村龍之馬場国有林	島原	鬼人谷	②③④⑥ ⑦⑧	岩塊熔岩を造成 石垣囲残存
	片平風穴	M34	南高来郡小浜村龍之馬場国有林	島原	鬼人谷	③④⑥⑦⑧	岩塊熔岩を造成 石垣囲残存
	龍神風穴	M34	南高来郡小浜村龍之馬場国有林	島原	鬼人谷	②④⑥⑦	岩塊熔岩を造成 石垣囲残存
	北側風穴 (西の風穴)	M34	南高来郡小浜村龍之馬場国有林 N32 45 43.3 E130 17 27.7	島原	鬼人谷 1230 m	②③④⑥ ⑦⑧	熔岩の開口節理の洞穴 (島原ジオパークのジオサイト)
	普賢風穴	M35	南高来郡島原村	島原	鬼人谷	③④⑥⑦⑧	岩塊熔岩を造成 石垣囲残存
	楓ノ木風穴	M33	南高来郡三會村楓ノ木	島原	鬼人谷	②③⑥⑦⑧	岩塊熔岩を造成 石垣囲残存
稻生風穴	M41	南高来郡安中村中木場	島原	中木場	③⑦⑧	—	
鹿児島県	桜島風穴	M41	鹿児島郡東桜島村	桜島南部	湯之	③⑦⑧	—

文 献

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ①『長野県蚕病予防事務成績』(M38) | ⑤『長野県風穴調』(M43) |
| ②『日本風穴蚕種論』(久保田・柳澤,M42) | ⑥『蚕業取締成績』(農商務省,T1~T6) |
| ③『全国風穴調』(M42)群馬県立図書館所蔵 | ⑦『蚕種要録』(蚕業新報社,T2) |
| ④『風穴新論』(柳澤,M43) | ⑧『風穴』(秋田営林局,S11) |

風穴名欄

無印: 蚕種貯蔵風穴

● : 種子貯蔵用または蚕種貯蔵用

を種子貯蔵用に転用

△ : その他の貯蔵用または蚕種貯蔵用を

それに転用

旧町村字名は当時のまま。所在地に風穴が複数ある場合、一部省略。

開業年 B:文久 K:慶応 M:明治 T:大正 H:平成 一:不明

廃止年 T:大正 S:昭和

風穴の所在が確認されたものは、経緯度・標高を付した。

近傍の地名の* は、地形図上に風穴等の注記があるもの。

るが、栃木・千葉・神奈川の3県に蚕種貯蔵風穴がない。千葉県内は古第三紀以前の地層や火山がないので、風穴をつくる硬い岩石が分布しないことに因るのだろう。栃木・神奈川の2県に蚕種貯蔵風穴がなかった理由は不明である。

群馬・山梨・長野・岐阜の4県内には、蚕種貯蔵風穴が多く分布する。2014年に世界文化遺産となった荒船風穴(写真1)、江戸中期から利用されている小諸市の氷風穴・松本市稲核の風穴本元(写真2)なども含まれる。とくに長野県内の蚕種貯蔵風穴の記録は100箇所以上に及んでいる。これは、明治期以降、全国でも最も養蚕が盛んな地域であったからにほかならない。それらの地域は高い山々に囲まれた山間部にあり、風穴をつくりやすい崖錐斜面が多くあるという土地条件も有効であった。富士山麓に多数ある、粘性の低い玄武岩熔岩の抜け跡である規模の大きい熔岩トンネルも、蚕種貯蔵風穴として使われていた(写真3)。

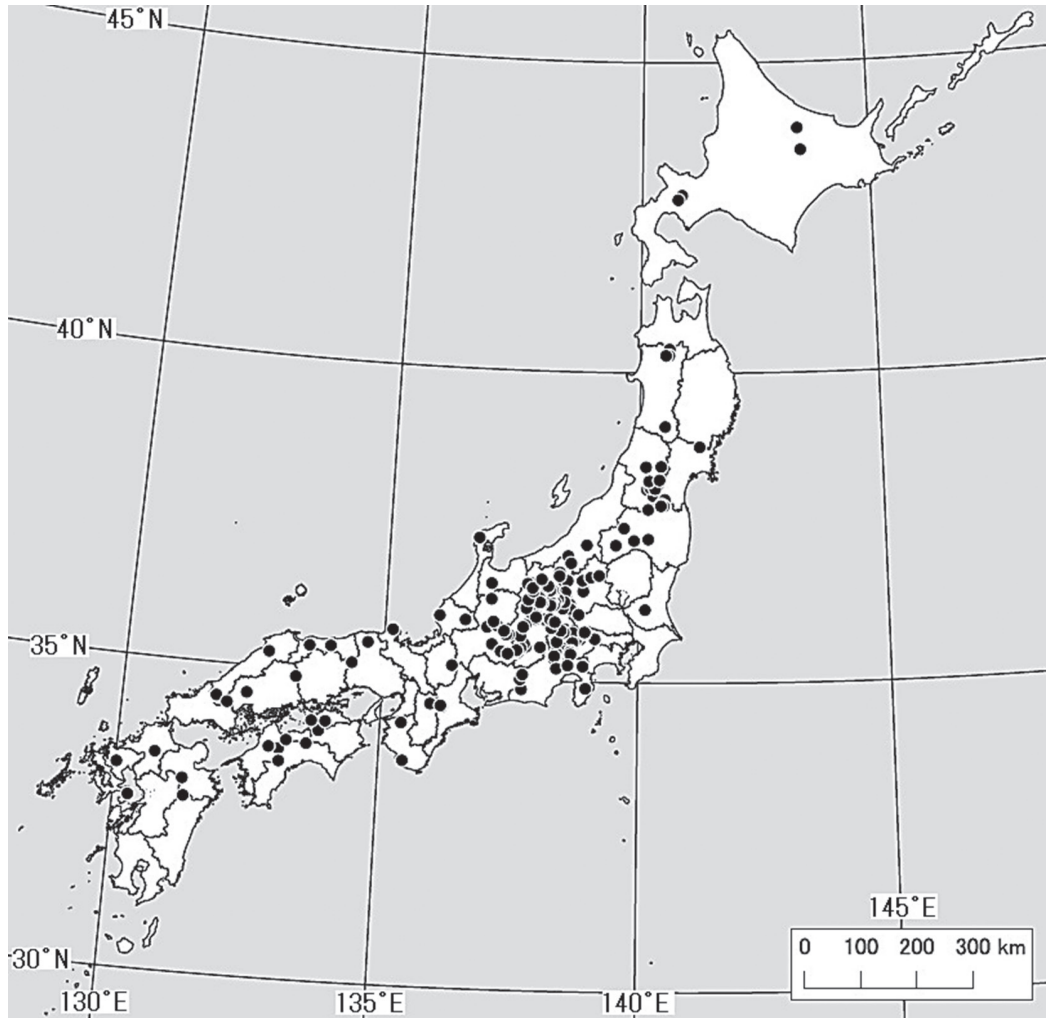


図1 全国風穴小屋(跡)分布図

西日本～九州では蚕種貯蔵風穴の分布は疎らとなるが、おおむね各府県に1箇所以上は所在する。鍾乳洞を利用した蚕種貯蔵風穴は少ないが、滋賀県の佐目風穴、高知県の長者風穴がそれにあたる。九州では熊本県にだけ蚕種貯蔵風穴が分布していないが、この理由も不明である。

南西諸島には風穴小屋の存在は知られておらず、日本最南端の蚕種貯蔵風穴は、鹿児島県の桜島風穴である。桜島南麓の湯野に鹿児島県天然記念物となった風穴があるが、利用された痕跡がなく、それが桜島風穴なのかは明らかでない。

風穴小屋(跡)の緯度高度

これまでに位置が確認された風穴小屋(跡)の緯度高度を散布図に現した(図3)。風穴の年間を通した低温の維持は、所在する気候帯によって異なる場合もある。たとえば、風穴の現象に起因する局所的な永久凍土の生成は北海道内に多く(澤田・石川, 2002など)、本州以南ではごく少ない。亜熱帯に属

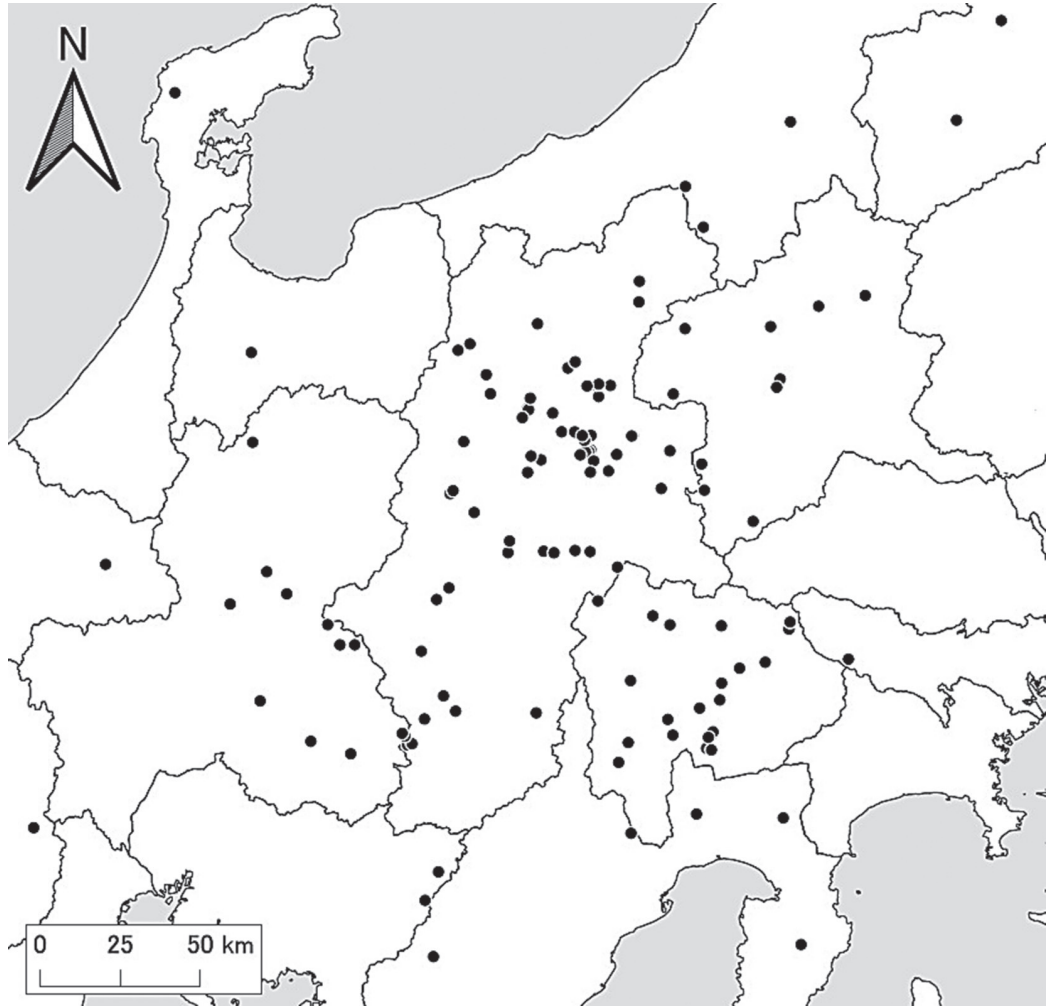


図2 中部日本の風穴小屋(跡)分布図

する南西諸島には風穴小屋(跡)がない。このような気候環境が風穴の立地に影響するなら、高緯度で低く低緯度で高い位置に分布するという傾向が認められるはずである。ところが実際には、図3に見るように、日本列島の気候環境によるそうした分布傾向は明瞭に現れてはいない。

これについては、以下のような理由が挙げられるだろう。1) 風穴の現象は、高低差をもつ地下の空隙という表層地質(斜面地形)条件があって、その空隙を空気が対流(とくに冬の冷たい外気の吸い込みによる岩石の蓄熱で夏季まで低温が持続)することによって生じる。この現象は、低山の斜面でも、海岸近傍の崖でも認められる。2) 風穴小屋は、風穴の自然現象が起きている斜面に造られ、貯蔵品の運搬に不便な奥山よりも、なるべく便利な里山に多く立地する。

中部地方には里山を含めて山岳・高原地域が広がっており、全般に高標高にまで風穴小屋(跡)が分布している。日本で最も高い位置にある蚕種貯蔵風穴は南八ヶ岳^{たつば}の立場山風穴で、立場川谷底の標高2,020mにあるノッチ状洞穴である。ここの風穴はあまり低温ではないので、亜高山帯の冷涼な環境を



写真1 世界文化遺産・荒船風穴の石垣(群馬県下仁田町)



写真2 稲核に現存する風穴本元(長野県松本市)



写真3 熔岩トンネル・富士竜宮風穴（竜宮洞穴）の洞口（山梨県富士河口湖町）

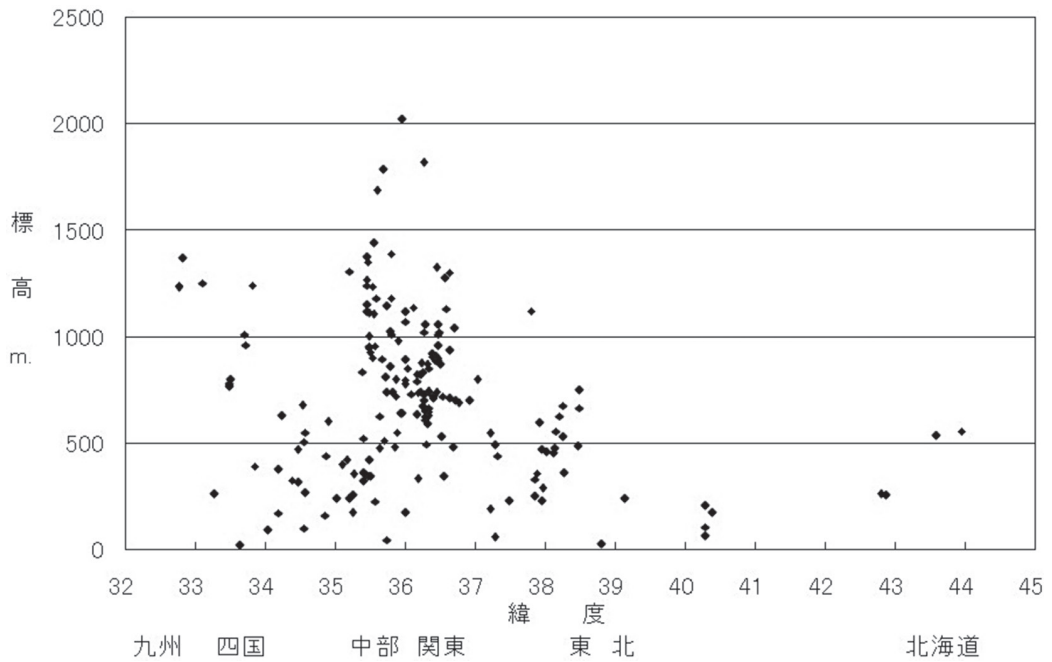


図3 全国風穴小屋（跡）の緯度高度散布図

利用していたようである。いっぽう、日本で最も低い蚕種貯蔵風穴は和歌山県の熊野風穴で、^{ひき}日置川下流の河岸沿いの標高30mに位置していたが、現在では跡をとどめていない。

九州では山岳地域に分布する傾向が認められる。著名な蚕種貯蔵風穴として、大分県の^{たいせん}大船風穴（1,250m）、宮崎県の祖母風穴（1,370m）、長崎県雲仙岳の北穴（1,240m）ほかの風穴群などがある。これらは標高1,000m以上の山頂近くに所在し、いずれも夏季まで風穴内に氷が残存する。西日本の温暖な気候環境下で、やや冷涼な山地帯（冷温帯）に顕著な低温の風穴が見出され、それが利用された例だろう。

現在における風穴利用

現在でも冷蔵等に利用されている各地の風穴について、ここで述べておこう。

かつての蚕種貯蔵風穴を、そのまま現在でも冷蔵に利用または利用できる状態にある風穴小屋が長野県内にある。佐久市の入沢風穴、小諸市の氷風穴、松本市の風穴本元は、一部を改修しつつも維持されている。入沢風穴は個人宅のすぐウラにあり、佐久市天然記念物に指定されている。氷風穴では蕎麦や日本酒などの貯蔵が行われており、2016年に「氷風穴の里保存会」が設立され、初夏には風穴まつりが開かれている。風穴本元では、明治期以来の倉造りの風穴が現存しており、苗木・種子などが貯蔵されている。なお、同じ稲核にある道の駅風穴の里の近傍に見学用の風穴があり、日本酒が貯蔵されている。

近年、地元団体が蚕種貯蔵風穴跡に風穴小屋を再建し、そこに農産物や酒類を冷蔵しているところはいくつかある。福島県三島町の滝谷風穴(写真4)では米・味噌・蕎麦など、長野県大町市の鷹狩風穴では焼酎、上田市の武石唐沢風穴では日本酒、長和町の近代的倉庫造りの集出荷貯蔵施設の風穴(写真5)



写真4 復元された滝谷風穴の風穴小屋(福島県三島町)



写真5 近代的倉庫造りの集出荷貯蔵施設の風穴(長野県長和町)



写真6 鷹狩風穴における焼酎の貯蔵（長野県大町市）

では^{だったん}韃靼蕎麦、福井県大野市の荒島風穴では醤油や農産物など、兵庫県豊岡市の神鍋山風穴や島根県出雲市の八雲風穴では農産物が貯蔵されている。

以上に挙げた風穴貯蔵品の多くは、品質や味が良好と評価されている。そうした付加価値が得られることによって、現在においても、風穴貯蔵が営業的に成り立っている例もある。なかでも、鷹狩風穴の焼酎は500日貯蔵することで、まろやかな味になることが評価されている（写真6）。また、木曾町の上野風穴では、ビニールハウス内で夏季に椎茸が栽培・出荷され、好評を得ている。

このほか、山口県萩市の笠山周辺では、風穴に住居を接続させ天然の冷房が得られる部屋があって、これを「ひやし」という。また、秋田県の長走風穴や岐阜県恵那市の岩浪風穴では、風穴からの冷風をパイプで建物内へ引き込み、夏季の冷房に供している。

2011年の東日本大震災による停電の影響から、研究用生物の電源装置保存が問題となって以降、九州大学では、研究・産業上有用なカイコ卵の系統別保存を大学の冷蔵庫だけでなく、稲核の風穴本元にもバックアップ保存している（伴野，2014）。ところが、それぞれに一定期間保存したカイコ卵の孵化率を比べると、風穴のほうが好成绩であることが判明したという。おそらく、安定した高い湿度と吹き出す天然の風によって、雑菌が少なくカビが発生しにくい状態が風穴内につくられているようである。

現在では、表1に示した明治期以来の蚕種貯蔵風穴などの多くが、放棄されたまま忘れ去られようとしている。ここでそれらを見直すことにより、今後とも風穴の利用が無限に広がることが期待される。風穴は、まさに持続型・未来型の自然エネルギーといえるものだろう。

謝 辞

各地の風穴の資料収集や現地調査にあたって、次の方々へ協力いただいた。

杉山俊明 鳥潟幸男 虻川嘉久 栗山知士 沢 和浩 宮原育子 八木浩司 飯澤達男 樋口利雄（故人） 瀬戸真之 澤口晋一 指村奈穂子 飯塚 聡 森 淳子 深谷 元 角田清美 鈴木秀和 井上公夫 池田一雄 細田浩 羽田麻美 宮下けい子 松田倫明 寒河江景子 柳沢麻里 木田千鶴 山口史枝 若松伸彦 岩田修二 吉田直隆 塚原吉政 小駒はるみ 山本信雄（故人） 柿下愛美 守屋以智雄 竹之下典祥 高田将志 荒堀弘隆 野久保貴博 吉井裕之 金山卓樹 杉野昌生

風穴の現地調査では、全国各地の方々から貴重な情報が得られた。()は風穴名。

網走西部森林管理署(瀬戸瀬) 佐々木 進(三関) 古澤 健(月山) 布施昭太郎(金倉) 酒井市男(羽前)
佐藤幹男(瀧山) 山口幹雄(瀧沢) 吉田興一郎(虚空蔵) 上野雄規(黒森) 佐久間宗一・目黒常廣(滝谷)
鈴木勝義(滝) 鴻巣臣義(天狗) 五十嵐亘孝(鬼押し出し園) 千明 圭(幡谷) 大河原順次郎(荒船) 黒
沢 均(大見山) 吉川ひろし(檜原) 古屋勝仁(狐新居) 雨宮薫晴(栃山) 高橋義信(清川) 赤池八千代
(瀬戸) 望月明晴(久田子) 三石仁子・嗣佳(入沢) 前田富孝・前田重雄・土屋 清(氷) 清水基介(蓼北)
武捨直江(氷平) 掛川一清(とのいり沢) 西沢恒幸(独鈷山) 鴫田 章(武石) 北村よう子(長和町集出荷
貯蔵施設) 傘木宏夫(鷹狩) 橋本武人(三才山) 前田英一郎(風穴本元) 上條洋司(針生) 諏訪市博物館
(神宮寺) 松原明雄(木曾) 倉澤道人(小野) 片桐一樹(権現山) 原 彦彦(棚洞) 熊谷 操(中ノ澤) 上
谷 勉(布勢) 和合 正(一の谷) 加子母森林組合(加子母) 高水正夫(岩浪) 林 マスヨ(城山) 山口隆吉
(栃木) 脇本浩嗣(荒島) 本多栄一(大谷) 眞砂幸次(太郎生) 猪俣一雄(丹後) 旭民宿(熊野) 勝部秀
夫・勝部 敦(八雲) 栗田たつ子(来見) 高橋和則(箸蔵) 緒方靖明(永野)

以上の方々の協力なくして本資料をまとめることはできなかつたであろう。記して謝意を表します。

文 献

- 秋田営林局(1936):『風穴』, 秋田営林局, 106p.
- 伴野 豊(2014):風穴を利用したバイオリソースのバックアップ保存.『ニュースレターおかいこさま』(九州
大学遺伝子資源開発研究センター), 29.
- 群馬県・群馬県教育委員会(2009):『全国の蚕種貯蔵風穴の現状—全国風穴アンケート調査結果について—』.
群馬県・群馬県教育委員会.
- 筆記者不明(1909):『全国風穴調』. 群馬県立図書館筆写資料.
- 久保田松吉(1909):『日本風穴蚕種論』. 有隣堂, 547p.
- 長野県蚕病予防事務所(1905):『長野県蚕病予防事務成績』. 長野県蚕病予防事務所, 長野.
- 長野県蚕病予防事務所(1910):『長野県風穴調』. 長野県蚕病予防事務所, 93p, 長野.
- 農商務省農務局(1914-1919):『大正元年度～大正六年度蚕業取締成績』. 農商務省農務局.
- 蚕業新報社(1913):『蚕種要録』. 蚕業新報社, 836+134+90p.
- 澤田結基・石川 守(2002):北海道中央部西ヌブカウシヌプリにおける岩塊斜面の永久凍土環境. 地学雑誌,
111, 555-563.
- 清水長正(2012-2020):日本風穴紀行. 地図中心, 2012-2020(連載中).
- 清水長正(2014):『全国風穴小屋マップ』. NPO地域づくり工房.
- 清水長正(2018):風穴:自然を利用する冷蔵倉庫を見直す. 科学, 88, 866-867.
- 清水長正・澤田結基 編(2015):『日本の風穴—冷涼のしくみと産業・観光への活用—』. 古今書院, 283p.
- 柳澤 巖(1910):『風穴新論』. 秋蚕専修学校, 112p, 豊科村.

Distribution of the Cold Storage on Algific Talus Slopes in Japan

SHIMIZU Chousei, YAMAKAWA Nobuyuki, IKEDA Akihiko, SAWADA Yuki,
SEKI Hideaki, YAMADA Yuko, OWA Misae and ISHII Masaki

More than 300 natural cold storages had been installed on algific talus slopes in Japan in the late 19th and early 20th century. These cold storages were mostly used for preserving silkworm eggs for sericulture, and for tree seeds for forestation. Authors made a list of the cold storages in Japan, based on the reports which were published by government in the early 20th century. Then, we confirmed whether remains of the cold storages exist or not, by the field surveys. Table 1 summarizes the remains of the cold storages in Japan. Distribution of the cold storages are highly concentrated in the middle part of Japan, where sericulture industries were dominant in the past. Some cold storages are still active in the recent year. For example, alcoholic beverages, such as Sake, are refrigerated in several rebuilt cold storage.